

氏名	田中健一	部署	共通教育科	職名	准教授
研究分野	生理学・薬理学・生化学				
学位	博士(医学)・薬学修士				
学歴	1989年:東京理科大学薬学部薬学科卒業, 1991年:東京理科大学大学院薬学研究科薬学専攻修士課程修了				
経歴	1995年:埼玉医科大学医学部助手, 1998年:岡山大学医学部助手, 2003年:就実大学薬学部助教授, 2007年:就実大学准教授, 2011年:埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会(役職)	日本生理学会(評議員)・日本薬理学会(学術評議員)・日本神経精神薬理学会(評議員), 日本薬学会 他				

【2017年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
(2) 論文					
1	Effect of alteration of glutathione content on cell viability in α -synuclein-transfected SH-SY5Y cells	共著	Adv. Parkinsons Dis., Vol. 6: 93-100.	Tanaka, K., Sonoda, K. and Asanuma, M.	2017
2	Effects of non-steroidal anti-inflammatory drugs on the self-renewal capacity of blast progenitors in hematologic malignancies	共著	Anticancer Res., Vol. 37: 2315-2322.	Zang, Y.I., Zhao, Y., Miyahara, K., Simada, M., Tanaka, K., Hayashi, H., Ihara, N. and Murohashi, I.	2017
(3) 学会発表					
1	虚血モデルマウスにおける血管新生やミトコンドリアから見た運動の影響	共著	第23回日本心臓リハビリテーション学会学術集会(岐阜)	丸岡弘, 金村尚彦, 田中健一, 林 弘之, 善田督史, 小川明宏, 石神昭人	2017.7
2	虚血モデルマウスにおける血管新生から見た運動やビタミンC摂取の影響について	共著	日本心臓リハビリテーション学会 第2回関東甲信越支部地方会(松本)	丸岡弘, 金村尚彦, 田中健一, 林 弘之, 善田督史, 小川明宏, 石神昭人	2017.9
3	Single prolonged stress 負荷によるマウスの不安関連行動に関する行動観察	共著	第95回日本生理学会大会(高松)	田中健一, 八木崇夫, 浅沼幹人	2018.3
(4) その他					
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	該当なし				
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	生理学	2017.4-8	複数の学科専攻の学生を対象とした必修科目である点を考慮して、授業ごとにポイントをまとめたプリントを作成し、学生の理解を助けるとともに、学習意欲の維持に努めた。		
2	薬理学	2017.4-6	複数の学科専攻の学生を対象とした必修科目である点を考慮して、授業ごとにポイントをまとめたプリントを作成し、学生の理解を助けるとともに、学習意欲の維持に努めた。		
3	臨床薬理学	2017.6-8	薬理学とのつながりと看護学科の専門必修科目である点を考慮して、授業ごとにポイントをまとめたプリントを作成し、学生の理解を助けるとともに、学習意欲の維持に努めた。		
4	生理学特論	2017.10-2018.2	生理学とのつながりと理学療法学科並びに作業療法学科の専門必修科目である点を考慮して、授業ごとにポイントをまとめたプリントを作成し、学生の理解を助けるとともに、学習意欲の維持に努めた。		

5	応用人体構造機能論	2017.4-8	大学院博士前期課程の共通科目であることに加えて、4コマのみ分担する点を考慮して、特定のテーマに絞って授業を行うことで、学生の理解を助ける工夫と学習意欲の維持に努めた。	
6	高次脳機能と病態制御	2017.10-2018.2	大学院博士前期課程の共通科目である点を考慮して、授業ごとにポイントをまとめたプリントを作成し、学生のニーズを初回授業で確認し、出来る範囲で授業に反映させて、学習意欲の維持に努めた。	
7	保健医療福祉学際英語	2017.10-2018.2	大学院博士前期課程の共通科目であるが、1コマだけの分担であるため、学生の英語に対する苦手意識を克服できるような授業内容を心掛けた。	
8	加齢神経運動機能論	2017.4-2018.2	大学院博士後期課程の共通科目であることに加えて、2コマのみ分担する点を考慮して、専門性の高い授業をコンパクトにまとめることで、学生の理解を助ける工夫と学習意欲の維持に努めた。	
9	臨床薬理学 <緩和ケア認定看護師養成課程>	2017.10-12	臨床現場で活躍する看護師向けの授業である点を考慮して、授業ごとにポイントをまとめたプリントを作成し、学生の理解を助けるとともに、学習意欲の維持に努めた。	
(2) 演習				
1	該当なし			
(3) 実習				
1	生理学実習(理学療法・作業療法)	2017.4-6	理学療法学科及び作業療法学科向けの内容で、学生が興味を持って実習できるように内容を工夫するとともに、基盤となる座学の知識と結びつような指導を心掛けた。	
2	生理学実習(健康行動)	2017.4-6	健康開発学行動科学専攻向けの内容で、学生が興味を持って実習できるように内容を工夫するとともに、基盤となる座学の知識と結びつような指導を心掛けた。	
3	ヒューマンケア体験実習	2017.4-9	メイン科目責任者として第6グループを総括するとともに、総括・主任科目責任者を補佐した。	
(4) 論文指導				
1	博士前期課程	通年	指導補助教員 3名	
2	博士後期課程	通年	指導補助教員 4名	
(5) その他				
1	埼玉県立大学における生理学・薬理学等の基礎医学科目に関する学習支援	通年	再履修の学生を中心に、授業時間外の補習授業の実施と学習支援のための指導を行っている。	
2	博士前期課程における修士論文審査	通年	主査1名	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	越谷市シルバーカレッジ	越谷市	喜怒哀楽の秘密ーこころ穏やかに老いるための知恵	2017.9
2	わせがく高校川越学習センター出張講座	埼玉県立大学	喜怒哀楽の秘密	2017.10.
3	杉戸町メンタルヘルス講演会	杉戸町	喜怒哀楽の秘密ーこころが壊れないための知恵	2018.2
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期	
1	該当なし			
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
5. 学内運営(委員会委員)				
1	専門基礎科目担当者会 会長			
2	大学院教務委員会 副委員長			
3	教育開発委員会 委員			
4	研究推進委員会 委員			
5	共同実験管理部会 副部長			
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の保有状況				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			

8. 特記事項

埼玉県立特別支援学校塙保己一学園1年生に対する授業支援(本学における生理学実習の実施):2012年度より実施(今年度は